

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	基本理念として、1. 能力に応じた支援、2. 尊厳と権利の保持、3. 地域の中で暮らしを継続の3つを掲げている。また、その理念を具体化した「私たちのケア」と言う独自のケア方針として、ゆったりと ありのままに 決めつけず あきらめず 知り続ける。休み気づき楽しむ。「生きる力」と引き出すためにつながりあうをつくりあげている。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は、日常の生活場面の中で目に付く場所に掲げている。ミーティング時、カンファレンス時は理念に立ち戻り、日々職員間声を掛け合いケアの中に取り入れ、原点に立ち返る努力を行なっている。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	パンフレットの中に理念を盛り込んだり、広報誌「てんじゅだより」の中で暮らしぶりがわかるように掲載している。それを地域会議や行事の度に配布したり、地域からの相談者に対して手渡ししている。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	管理者、職員に限らず入居者が散歩時に出会った人達や隣近所の方には朝晩の挨拶や日常会話は絶やさないようにしている。また、庭木などを植えたり、看板は近隣に溶け込めるよう自然なものに配慮し、家庭的な雰囲気作りに努めている。	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入しており、町内の回覧板を回してもらう中で、地域行事や催し物に入居者とともに参加している。また、地域活動として、「さわやか見守りeye」に登録し、日頃の散歩を兼ねて安全パトロール活動を行っている。	

岐阜県 グループホームてんじゆ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている		

岐阜県 グループホームてんじゆ

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居前の見学、事前面談時 自宅訪問時など契約内容の説明をゆっくり丁寧に時間をかけている。その場で理解が出来かねる時は内容を再確認してもらい同意を頂くようにしている。又契約時や契約後も対契約書を確認していただき疑問や質問がある場合はその都度説明を行なっている。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居者の意見、不満、苦情を把握する為に、ティータイム時、日向ぼっこ、団欒時に一緒に過ごす時間を設け、話を聞くようにしている。又、テーマや意見聴取の方法を職員同士が話し合い、「本人会議」と言う形で出来るだけ実現可能なことを受け止められるように、入居者と職員の話し合いの機会を作るようにし始めた。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族、後見人等の方には、日常の暮らしぶりを面会時、電話等で逐一報告をさせていただいている。体調変化にて受診をした時、急変時は身体状況に応じてキーパーソンの方に報告をさせてもらっている。また、病状の経過、予測も含めて適時に説明と同意を得るようにしている。金銭管理は毎月、収支の明細、領収書とともに提示し説明を行なっている。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>重要事項説明時、ホーム内の記載等、苦情相談窓口を明確にしている。来所時には、日常の会話の中やケアプランの作成、見直し時にきたんなく意見を出していただけるような働きかけを行なっている。直接的に発言しにくい場合は、目安箱を設置したり、無記名のアンケートを行なったり、岐阜県適正化委員会等のパンフレットを配布したりと要望や思いの把握に努めている。</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>労務人事上の内規や業務の意見や提案は、各ユニットリーダーがスタッフの意見の徴収を行なっている。随時、話し合いも行われている。また、一人一人の意見を取り入れるように、記述式のアンケートをその議題に応じて行なって取りまとめをしている。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>勤務時間帯や業務内容方法は、入居者一日の生活の流れと、職員の対応可能な時間帯に折り合いをつけるよう、試用期間後アンケートを取り、話し合いをし、決定をしていくよう努めている。</p>	

岐阜県 グループホームてんじゆ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開所当初からのユニット間の移動は最小限にしている。また、異動があった場合は、引継ぎを細かく行い、情報交換を密にしている。建物構造上一階平屋（2ユニット）であり、ユニット間の交流が日々行われており、入居者や職員同士の関係ができています。		
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の資格、経験、技術等に応じた研修計画を立て、適宜個人に研修できる機会をつくれるよう努力している。また、事業所外の研修を内部研修に取り入れ、より実践できるように生かしている。		
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホームきょうかい、認知症ケア学会等の各種研修、勉強会への参加をする中で、交流をはかり、参考となるような意見やケア方法を取り入れるようにしている。		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	現場でおこった問題や課題を見過ごすことの無いよう職員のリーダーの意見を聞くようにしている。当事者が、直接的に不満が言えない事を個別に話を聞く機会を設けたり、様子を見て声を掛けるようにしている。職員がストレス発散し、リフレッシュできるように戸外での喫煙、休憩場所を提供している。また、職員向けのボーリング大会の参加を勧めたり、ホーム内での対抗戦を企画している。		
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	研修、勉強会への意欲的な参加希望者には、勤務の支障の出ない範囲で相談をし、出来る限り参加してもらえるように努めている。また、ホーム内でのレクリエーション、行事の企画は職員自身が立案し、その結果を報告する中で、より内容が深まっていくような取り組みをしている。		

岐阜県 グループホームてんじゆ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前は必ずご本人又はご家族等に見学して頂き、面談を行なうようにしている。本人がホームに来所することが出来ない場合や、自宅での様子を知りたい時などこちらから自宅等に出向き、面談を重ねるようにしている。その面談では時間を掛けて、本人の希望をまず聴くようにしている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人の希望に合わせて、家族等の面接、困りごとなどは面接を通じてご本人とご家族のニーズをすり合わせて考えるようにしている。また、ご本人の心身状態、自宅生活での様子、これまでの経過を情報収集する中で、家族等の思いを受け止め関係づくりを良好に築く一歩と考え行なっている。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初回面談の中で、担当ケアマネージャーやソーシャルワーカー、近所の人などと連携を取る中で、ご本人を取り巻く状況がグループホームに入居に適しているかをご相談し、社会資源を選択するように心がけている。	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居されることで、不安や孤独感から混乱があるのを出来る限り最小限になるように見学、自宅訪問などを家族や関係者と一緒に行い、本人が見学時既に入居されている方と話す機会を作ったり、在宅サービス利用時に、何度も足を運んで顔を覚えて頂くよう入居前から徐々に慣れて頂くよう勧めている。入居された後も、家族等にまめに来訪されるようお願いしている。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常生活の中で、ティータイムを一緒に過ごしたり、日向ぼっこを隣同士に座って同じ時間を共有するように心がけている。月1回の行事や季節料理の日には、楽しみながら企画から一緒に行い、時には、昔ながらの慣わしなど職員が知らないことを学ぶことがあり感心させられている。	

岐阜県. グループホームてんじゆ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	職員は、日常的なエピソード、心身の状態など家族と伴に本人を主体とした考え方で話しあったり、時には相談したりしている。又、行動障害の対応について、家族からの情報を大切にし、一緒に取り組み協力を得るようにしている。		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	在宅生活での家族との関わりを継続していけるように、外出時、来訪時には、本人を介して必ず最近の様子良い面、悪い面を率直に伝え、コミュニケーションをとることで、家族がこれまで以上にゆとりのある気持ちで接して頂けるように支援している。		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの喫茶店や理髪店、スーパー、病院へ継続して家族と伴に出掛けている。また、ホーム内にも、これまで関係のあった近所の人、友人、ケアマネジャー、医師などが引き続き来訪されている。友人や親戚から贈り物や手紙を頂いた時、寂しくなった時など折に触れて、本人が電話を掛けたり、手紙を出したりすることを支援している。		
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	レクリエーションでの百人一首、入居者同士自主的に行い、毎日読み手、とり手を自分達で役割を決定し行なっている。日向ぼっこでは、長椅子と一緒に腰掛、ひざ掛けをお互いに掛け合い雑談を楽しんでいる。一人で湯茶を飲めない入居者には、湯飲みを差し出し、飲むように他入居者が気にかけている。		
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退居された方には、退居サマリーを作成し、次の関係者に渡している。又、その後の様子を伺いに、病院や施設に出向き状況把握に努めている。入居期間に関係なく、ホームで過ごされたことを大切に、本人やご家族との関わりを努めて取るようにしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の関わりの中で、声かけやコミュニケーションを取る。言葉、表情や態度で推測し、把握するようにしている。すぐに反応が無い場合も時間を掛けて待つことで、ご本人がどう感じてどのように思っているのかと考えるようにしている。又、その事を申し送り時やミーティングで話あっている。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式のアセスメントシートを用い、ご本人が長年馴染んだ習慣や好みなど、これまでの暮らしの様子を本人や家族、又はケアマネージャーなどの各種サービス関係者から、把握し、暮らしの歴史の中から安心して暮らす手がかりを見つけ出す為に、現在のニーズや支援に結びつけている。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一日の暮らし方、生活リズムの把握は、週間体調表やアセスメントシートを用い、変化に気づくことが出来るように行なっている。また、様々な暮らしの場面で、わかる事わからない事を具体化する事で、強みに着目し、本人の全体像を掴むようにしている。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画を作成する事で、段階的に行っている。本人、家族等からのニーズを反映させた暫定計画書を基に、担当スタッフと伴にアセスメントを更に深め、カンファレンスやミーティングの中で意見交換し、個別に介護計画を作成している。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者に応じて、モニタリング期間を決め、3ヶ月ごとを基本に行なっているが、途中状態の変化、新たなニーズが発生した際はカンファレンスを通して再アセスメントし計画の見直しを行なう。	

岐阜県. グループホームてんじゆ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の経過記録、週間計画表は日々の記録として行なっている。記録は、直近ファイルとして直ぐに記録や確認ができる場所にあり、詳細な業務連絡、ケア方法は申し送りノートを活用し、引継ぎ申し送り時には全員が確認し、サインするようにしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者の状態変化、低下に伴い、医療連携体制を活かして、協力医療機関への通院受診介助を定期的に行なっている。又、協力医療機関外の病院入院後も、家族が入院中の主治医からの病状説明時には、管理者や職員が同席し、意向の確認を行ったり、わかり易く補足説明をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域生活を継続していく為に、ボランティアによる読み聞かせ、言葉遊び、合唱、押し花教室は毎月来訪を受け希望される入居者が待ちどうしく楽しみとなっている。また、近所の派出所が防犯強化の為、夜間パトロールを行ったり、消防署とは、3ヶ月に1回合同訓練を行なっている。		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域での健康予防教室や老人会主催の余暇活動に希望する入居者は、職員と伴に参加している。又、状態変化に伴い、地域のケアマネジャーや包括支援センターの職員と相談の上他のサービスの利用を検討している。		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	権利擁護事業は、在宅生活の時から関わりで、中々利用に結びつかない入居者が、入居後も結びつけるように支援員の方の指導を受けながら本人と面談を重ねている。又、地域包括支援センターの職員と、地域での介護教室や認知症予防教室の開催参加について話し合いをもっている。		

岐阜県. グループホームてんじゆ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

岐阜県 グループホームてんじゆ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>49</p> <p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>住み慣れた場所からの環境が変わる場合、退居サマリーやケアプランなどの支援情報を交換し、共有することによりリロケーションダメージを少なくするよう努めている。</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>50</p> <p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>一人ひとりの誇りや、プライバシーを損ねないように感謝の言葉の声かけを行い、できないことについては、さりげなく支援している。特に、排泄に関することは業務内での合言葉を使い配慮している。個人情報の取扱いは、契約時に同意書を頂き対応している。</p>		
<p>51</p> <p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>入居者に合わせた問いかけを行い、自己決定をして頂く機会を作っている。思いや希望を表せるように、ゆっくりとした声かけや、わかりやすい言葉遣いを用い、環境を整え、職員側の心のゆとりが持てるように時間を掛けるよう努力している。</p>		
<p>52</p> <p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりのペースと職員側の業務のペースは異なることがあり、ケアと業務の区分け整理に着眼し本人に接するのをゆったりとゆとりが持てるように考えている。基本の一日の流れは大まかにはあるが、本人の体調や気持ちを尊重するように支援している。</p>		
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53</p> <p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>衣服の選択は、基本的には自己決定して頂いているが、決定しにくい方は家族などに好みを聞き、出来るだけ本人の気持ちに添えるように支援している。お気に入りの服の把握、外出時の他所行き用の着用支援。使い続けている化粧品の購入支援など本人らしいおしゃれや身だしなみが出来るように心がけている。</p>		

岐阜県. グループホームてんじゆ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		

岐阜県 グループホームてんじゆ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>		
61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>		
62	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>		
63	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>		
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>		
(4)安心と安全を支える支援			
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>		

岐阜県 グループホームてんじゆ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		

岐阜県 グループホームてんじゆ


項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>入居者の個々に起こりうるリスクについて話し合い、共通認識を持っている。リスクを恐れる為に、行動を抑制するのではなく、リスクに対してどのように対応していくかを検討していくようにしている。運営推進会議では、問題発生した事柄の具体策を報告し、そのことについて、意見を求めるようにしている。家族等に対してはリスクに対する説明を行い同意を得ている。</p>	
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>毎日のバイタルサインのチェックで、その日の状態を把握しており、少しでも状態の変化が見られる時は再検し、異常が見られる時は、管理者と看護師に相談をし判断を仰いでいる。又、医療受診にもつなげている。</p>	
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬ファイルに薬の働き、副作用などを記載した書類を整理し、いつでも職員が確認できるような場所に保管してある。服薬支援時、誤薬防止のダブルチェック、本人手渡し時の確実な服薬を確認している。</p>	
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>食物繊維の多い食材や、毎朝牛乳を摂取してするようにしている。毎朝の体操や散歩などの運動も欠かさないようにしている。排便コントロールは一人ひとりの対応を取り決めて、状態に応じて変化させるように話し合いを行なっている。</p>	
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>食後の歯磨きの声かけ誘導を行い、本人の能力に応じて職員が見守り、介助を行なっている。口腔ケアの重要性を誤嚥性肺炎等の罹患で職員が理解している。歯科医の往診では、日頃の口腔ケアで網羅されない歯肉の汚れをクリーニングしてもらうように支援している。</p>	
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>週間体調表を記録し、食事や水分摂取状況を職員全員が把握できるようにしている。保健センターの管理栄養士の専門的アドバイスを受けるようにしている。</p>	

岐阜県. グループホームてんじゆ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	「感染症マニュアル」「日頃の感染症予防対策」の取り決めがあり、ミーティングの中で学習し日頃の申し送り時に確認している。インフルエンザ予防接種は同意を得て、入居者及び職員は接種をしている。ノロウイルス対策として、消毒薬の希釈は日常業務の中に組み込み各所に使用している。		
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	「食中毒予防マニュアル」の取り決めは、生活衛生局の追加の6つのポイントを基に考えている。調理食材を取り扱うものは特に保健センターの研修に参加し、学ぶようにしている。調理器具等の消毒は日常業務に取り入れている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	事務所、施設のイメージでなく、住宅、住まいを意識できるようにまた、周囲に溶け込めるような外観を作り出すようにしている。庭木、草花は絶やさないようしている。花は入居者の心を安らかにしている。玄関の長いすやデッキの椅子は日向ぼっこ、団欒の場となっている。		
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングは吹き抜けで開放感がある南向きで採光は十分に取入れられている。飾りつけや貼り絵は、入居者と職員の合同作品を毎月取り組んでおり楽しみの一つとなっている。夕入居者の家族が提供されたベストリーは、季節感と古布の味わいがあり、暖かさを出している。畳コーナーでは昼寝の絶好の場所になっており、入居者同士で譲り合ったり好んで居室から出てきて、安らげる居場所になっている。引き戸の音はクッションを各所に取り付け防音に気配りしている。		
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関先、廊下、各コーナーにテーブル椅子を置き、気の合うもの同士や一人でゆっくり出来るスペースを作り出している。		

岐阜県. グループホームてんじゆ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

岐阜県 グループホームてんじゅ

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

建物は木造平屋造りで、市外住宅地の近隣住居の中にとけ込んで立地している。庭は、樹木や季節の花を植え、季節感がある。屋内は天井が高く、吹き抜けてゆったりと開放的な雰囲気である。東西の両ユニットは、毎日、朝の挨拶と顔合わせに体操を合同でする事を日課にしている。自主的参加であるもほぼ全員の入居者が参加され、締めくくりには、「てんじゅの歌」を合唱することが習慣となっている。毎月、季節料理の日や、行事を行なっているが、その企画運営は職員と入居者とが話し合い、意見を出し合って決定している。その他に、「本人会議」と称して日常の小さな事柄や、思いをくみ取れるように話を聞き、話し合う場を最近行なうようになった。そこでの思いがけない入居者の言葉に職員が気づかされ、ケアの向上に役立っている。ケアの中で入居者に対しての職員の言葉遣い、態度、表情を一番重要視している事項である。開設して2年が経とうとしているが、理念、「私たちのケア」に立ち返れるよう日々努力している。地域活動として、「さわやかみまもりeye」のパトロールを兼ねての散歩や「こども110番の家」の登録など地域に役立つ事が無いかと取り組んでいる。地域の中で、自然な暮らしとは何か、自宅に変わる安心できる住まいとはを考え今後も実践していきたいと考えている。